

製品名: CCL2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81118**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	CCL2
別名	HC11; MCAF; MCP1; MCP-1; SCYA2; GDCF-2; SMC-CF; HSMCR30
遺伝子 ID	6347.0
SwissProt ID	P13500
免疫原	大腸菌で発現したヒト CCL2 の精製された組み換え断片。

背景

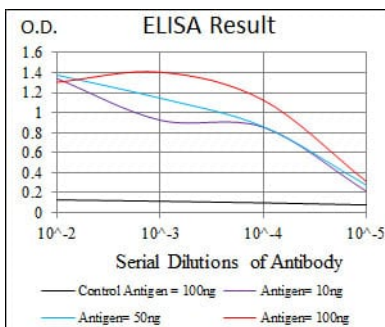
この遺伝子は、17 番染色体の Q 腕にクラスター化した複数のサイトカイン遺伝子の 1 つです。サイトカインは、免疫調節および炎症プロセスに関与する分泌タンパク質ファミリーです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイトカインの CXC サブファ

ミリーと構造的に関連しています。このサブファミリーのメンバーは、1つのアミノ酸で区切られた2つのシステインを特徴とします。このサイトカインは単球および好塩基球に対して走化性活性を示しますが、好中球や好酸球に対しては走化性活性を示しません。乾癬、関節リウマチ、動脈硬化症など、単球浸潤を特徴とする疾患の病因に関与していることが示唆されています。このサイトカインはケモカイン受容体 CCR2 および CCR4 に結合します。

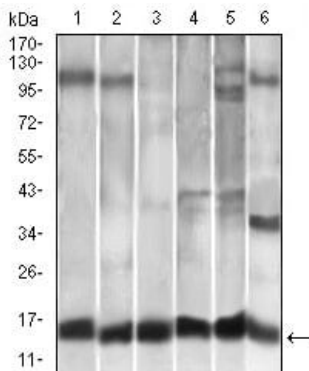
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路

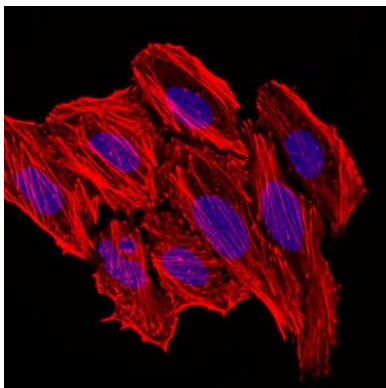
画像データ



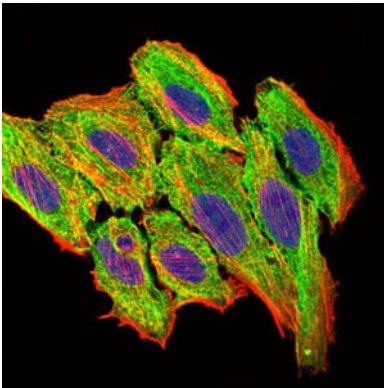
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



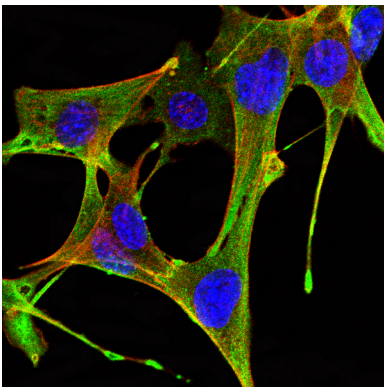
CCL2 マウス mAb を用いた A549 (1)、HeLa (2)、Raw264.7 (3)、L1210 (4)、C6 (5)、および COS-7 (6) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



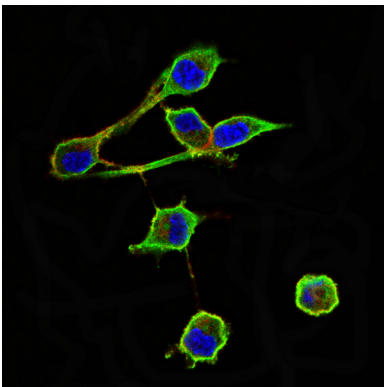
HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



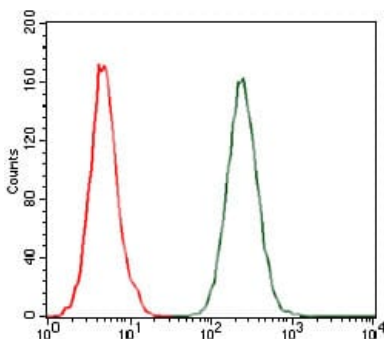
CCL2 マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



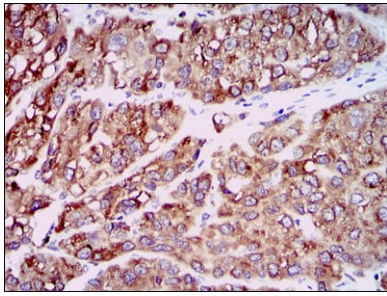
CCL2 マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



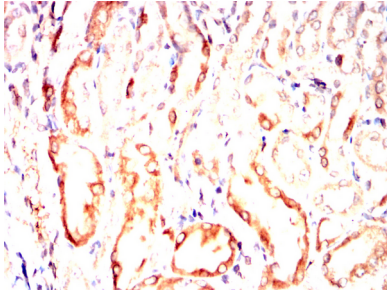
CCL2 マウス mAb (緑) を用いた RSC-96 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CCL2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



CCL2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。



CCL2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓の免疫組織化学分析。